

六地藏ろくちぢざう〔指月の東八町ばかりにあり。此所のひがしは醍醐街道だいごかいだう、西は伏見淀道ふしみよどみち、中に京街道あり、南は黄檗宇治わうぼくうちに至る〕

地藏堂〔大善寺だいぜんじと号す、浄土宗なり、京道の角にあり〕本尊地藏菩薩ちぢざうぼさつは、仁寿二年小野篁冥土をのたかむらに赴き、生身の地藏尊を拜し、蘇りて後一木を以て六体の地藏尊をきざみ、当寺に安置す。保元年中に平清盛西光法師たひらのきよもりさいくわうに命じて、都の入口毎に六角の堂をいとなみ、此尊像を配して安置す、今の地藏巡りこれよりはじまる。